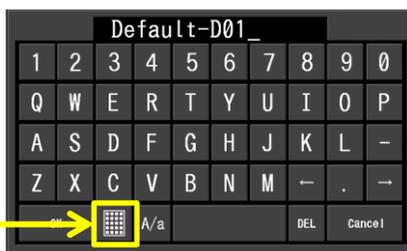


# スペクトロマスター C-700 ファームウェア ver. “\*\*21-11”

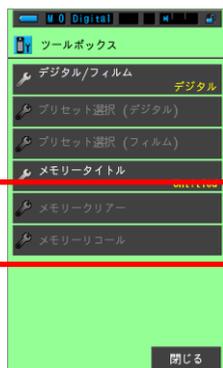
- **ダーク補正**
  - ダーク補正は前回ご使用時から 24 時間以上経過した場合、電池を交換した場合、またはご使用後 24 時間以内でも急激な温度変化があった場合に電源を投入すると自動的に行われます。それ以外の場合は電源投入時のダーク補正は行わない設定になりました。
  - ダーク補正は「設定」画面から行うこともできますが、測定画面および表示モード選択画面においても光量切り換えリングをダーク補正位置(CAL)にセットするとダーク補正を行うことができます。
- **文字入力時にキーボード入力が可能になりました。**



キーボード入力画面

キーパッド入力(数字)画面

- **メモリー機能**
  - メモリーリコールおよびメモリークリアは「メモリー管理」画面に統合されました。
  - メモリータイトルは「メモリー管理」画面からいつでも名前の変更が可能になりました。



元のツールボックス画面



新しいツールボックス画面



メモリー管理画面

## ● 多灯比較モード

- 多灯比較画面で表示される測定値(項目)は測定画面でアスタリスク(\*)のついた最初の3項目が表示されるため、項目の選択が可能です。



- ΔCC 指数やΔCC 照明フィルタが項目選択に追加されました(多灯比較モードのみ)。そのため、黒体放射軌跡からの差分でなく、基準になる光源のCC補正值から他の測定した光源のCC補正值の差分を表示することができます。
- 多灯比較モードの測定画面においてメモリーが可能になりました。
- 基準となる光源はメモリーした値から設定することも可能になりました。

## ● バグ修正

- スペクトル比較モードのY軸「相対」設定時のバグ修正。
- 測定画面の項目において、フィルムモードの写真的色温度を「PCT」に変更。
- その他バグ修正および操作の改善。

## ● ご注意

- 標準付属品のC-700シリーズユーティリティのバージョンが古い場合、最新の本体ファームウェアに対応していないため、本体の設定の内容によってはエラーが発生します。最新のユーティリティのリリースされた際には更新してお使いください。